

くらい補正でもって移り、25年度予算額が大幅な少なくなったようだ。25年度予算額の今後の見直しはどうか。

答 平成25年度は、とりあえずこの額で執行していく形になる。

上下水道課

浅貝地区の水洗化率について

問 浅貝地区の下水道がリニューアルの時期に来ていて、何かと経費がかかってくる。この地域の水洗化率は、昨年度末で76・4%と示されている。この状況について聞きたい。

答 平成24年4月1日現在、浅貝地区の水洗化率は76・4%、平成23年4月1日が77・8%なので若干下がっている。水洗化率の向上は図れていないのが現状だ。対策として、地域の実情に合わせた排水指定工事等に案内を送付する、未接続の方に勧奨パンフレット等を送るといったことをして

いる。

土樽松川浄化センターの方針は

問 土樽松川浄化センターは、地域の人口に対して設備が過大と思う。今となつてはしようがないということ、そのまま続けていくのか。いつかは抜本的に手を加えるという方針はないのか。

答 平成25年度に長寿命化計画を策定する。当然、都市計画決定されている処理場なので、手続上も難しいことがあるが、将来的には湯沢浄化センターに持ってきてきたいと思っている。

健康福祉課

ケアマネージメント事業の直営について

問 ケアマネージメント事業を直営で始めるというのだが、何か社会福祉協議会で対応できない理由があったら聞きたい。

答 介護認定者の数が増えていて、ケアマネージャーの養成が追いついていない。本来は保険者である町と利用者である方との利益が相反するので、積極的に展開したくないが、介護保険のサービス利用ができないことはさらに良くない。

問 緊急通報体制等の整備事業で、設置の対象は何件くらいを予定しているのか。

答 アンケートで希望を取った。当初20件くらいかと予想していた。今のところ申し込みは12、13件だ。

国保事業を広域化する方針か

問 資料には、後期高齢者医療事業で現行制度の動向や改正の情報収集とある。国保の事業を広域化する方針を国が持っているように思う。湯沢町が国保の事業を進めていく中で、これは広域化への布石か。

答 新潟県での取組みが遅いかもれないが、国は広域化を進めている。その中で国からの財政支援がある。県からの交付金は7%から9%となり、

県の力を強くし、国の力を弱めるという形で予定されている。25年度になると、もう少しその動きが加速されてくるかもしれない。

問 国保税が1000万円程度の増となると、被保険者1人当たりどの位増えるか。

答 被保険者が30000人程度なので、1人当たり30000円程度となる。

問 子ども医療費の助成は、昨年の年度途中で中学生まで対象にされたという報告があったと思う。これについて現状の県内他市町村の状況を聞きたい。

答 新潟県は、入院で3人以上の子どもがいる場合中学生まで、2人までは小学生までだ。入院、通院とあるが、県の規定と同じなのが11市町村ある。湯沢町は、全て入院通院は中学校までで、3人とこだわっていない。そのように拡充している市町村は18ある。もう1つは、入院について高校まで広げている。

問 一般会計からの補助

金1億2000万円の病院事業会計での内訳はどうなるのか。

答 医療収益の他会計負担金3877万7000円と医療外収益の他会計補助金7021万9000円、そして資本的収入の他会計補助金1100万4000円の合算が1億2000万円となる。

産業観光課

問 昨年度の予算と内容がそれほど変わらないように感じた。このたび観光振興計画を作成したが、計画が25年度予算案にどのように反映されているのか。

答 予算執行という中で、ではなく、事業が進む中で、そして一つ一つの動きの中で地域の皆さんと話し合っ、地域の文化や伝統を掘り起こす作業をしていきたい。これが今年の事業の進め方だと思う。

緊急雇用創出事業の課題は

問 緊急雇用創出事業は、本来なら新たな企業を支

援するようなシステムを作らなければならない。緊急雇用対策を幅広く使うことによって地域の活性化を考えなければならぬと思う。今後の課題として、どのように考えもらえるか。

答 そのとおりで、全体的な公募というものも大切であると思う。手落ちがあった部分についてはお詫びしたい。

税務課

町税 想定する徴収率は

問 町税で、個人町民税と固定資産税の現年課税分を予算計上するにあたり、想定した徴収率はどの位か。

答 個人町民税は徴収率95%を見込んでいます。1号該当は町民の方で3800人、2号該当は湯沢町に家屋敷がある町外の人で9400人だ。固定資産税については、徴収率100%となる総務大臣配分分を含めて93・5%くらいと考えている。